## さいたま市感染症発生動向調査(週報)

平成 31 年第 3 週(1 月 14 日~1 月 20 日)

### ■全数把握対象疾患(結核を除く)

五類感染症の**急性脳炎** 2 人(病原体:インフルエンザウイルスA 2 人)、**劇症型溶血性レンサ球菌感染症** 1 人(血清群:A群)、**侵襲性肺炎球菌感染症** 2 人、百日咳 5 人(7 歳 1 人、10 歳代 2 人、30 歳代 1 人、40 歳代 1 人)、風しん 1 人(病型:検査診断例)の報告がありました。風しんの詳細は「さいたま市風しん週報」をご覧ください。

★インフルエンザが流行警報レベルとなっています! ★伝染性紅斑が流行警報レベルとなっています!

#### ■定点把握対象疾患

インフルエンザの定点当たり報告数は、先週の 30.46 人から 56.88 人(報告数 2,332 人)と増加しました。 流行警報開始基準値(定点当たり30人)を超え、市内で大きな流行が継続しているものとみられます。 ウイルス検出情報などの詳細は、別紙「さいたま市インフルエンザ週報」をご覧ください。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は、先週の 2.16 人から 2.41 人(報告数 65 人)と増加しました。流行警報開始基準値(定点当たり 2 人)を超え、市内の過去の同時期と比較して最も報告の多い状況です。

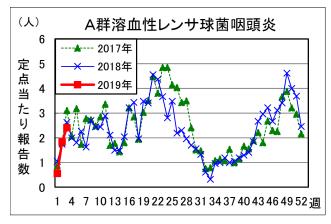
RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告が増加しました。

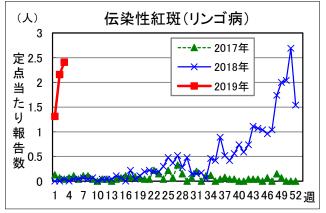
感染性胃腸炎の報告が多い状況です。

無菌性髄膜炎の報告が2人(1-4歳1人、55-59歳1人)ありました。

マイコプラズマ肺炎の報告が2人(5-9歳2人)ありました。

感染症予防のため、日頃から流水と石けんによる手洗い、ウガイ、咳エチケットを励行しましょう。





#### ■定点当たり報告数表(第3週 1月22日 13:00集計)

		-,,
定点当たり	推移	流行状況
56.88	1	***
0.44	1	*
0.00	<b>→</b>	*
2.41	<b>↑</b>	**
9.22	<b>^</b>	**
0.19	<b>1</b>	*
0.22	<b>\</b>	*
2.41	1	***
0.48	$\rightarrow$	*
	56.88 0.44 0.00 2.41 9.22 0.19 0.22 2.41	56.88 ↑  0.44 ↑  0.00 ↓  2.41 ↑  9.22 →  0.19 ↓  0.22 ↓  2.41 ↑

疾患名	定点当たり	推移	流行状況			
ヘルパンギーナ	0.00	1	*			
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.04	$\rightarrow$	*			
急性出血性結膜炎	0.00	1	*			
流行性角結膜炎(はやり目)	0.25	1	*			
細菌性髄膜炎	0.00					
無菌性髄膜炎	2.00					
マイコプラズマ肺炎	2.00	報告数が少な				
クラミジア肺炎	0.00	ため表示せず				
インフルエンザによる入院患者	12.00					
ロタウイルスによる感染性胃腸炎	0.00					

※推移:2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少)

 $%流行状況: 過去5年のデータをもとに、流行の大きさを示します。(小さい <math>\leftarrow \star$ 、 $\star \star$ 、 $\star \star$   $\star$   $\star$   $\star$  大きい)

さいたま市健康科学研究センター(さいたま市感染症情報センター)TEL:048-840-2250 FAX:048-840-2267

## 感染症発生動向調査 週情報 (患者報告数、定点当たり報告数、年齢階級)

(2019年第3週 平成31年1月14日~1月20日)

	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
インフルエンザ #1	2,332	56.88	10	41	104	107	107	130	133	138	144	120	117	407	138	122	152	160	86	62	28	26
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	−12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20歳-						
RSウイルス感染症	12	0.44	4	4	3	1	_	-	_	-	-	-	_	_	-	_						
咽頭結膜熱	-	_	_	_	-	-	_	-	_	_	-	_	_	_	-	_						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	65	2.41	-	1	-	2	2	11	6	9	7	12	5	8	-	2						
感染性胃腸炎	249	9.22	2	12	31	26	24	21	15	21	13	9	7	42	5	21						
水痘	5	0.19	1	_	-	1	-	-	_	1	1	_	_	_	1	_						
手足口病	6	0.22	-	_	-	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-	_						
伝染性紅斑	65	2.41	_	_	4	3	8	14	9	10	9	5	3	_	-	_						
突発性発しん	13	0.48	_	3	9	-	1	-	_	_	-	_	_	_	-	_						
ヘルパンギーナ	_	_	-	-	-	-	_	-	-	-	-	_	-	-	-	_						
流行性耳下腺炎	1	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	_	1	_	-	_						
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	
急性出血性結膜炎	-	_	-	-	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	_	_	-	-	-	_	
流行性角結膜炎	2	0.25	_	_	-	-	_	-	_	1	-	_	_	_	1	_	_	_	_	-	_	
	報告数	定点当たり	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	_	-	-	-	-	-	_	-	-	_	-	_	_	_				
無菌性髄膜炎	2	2.00	_	1	-	-	_	-	_	_	-	_	_	_	1	_	_	_				
マイコプラズマ肺炎	2	2.00	-	-	2	-	_	-	-	-	-	_	-	-	-	_	_	_				
クラミジア肺炎 #3	-	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザによる入院患者	12	12.00	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	6				
ロタウイルスによる感染性胃腸炎	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

( - : 0 ) #1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

#2 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く

#3 オウム病を除く

流行状況・・・

:警報レベル、

: 注意報レベル

1月 22日 13:00 集計

# 全数把握对象疾患届出数(2019年)

	<u>工 级 1</u>		<u> </u>	· 心/田	山致(ZUI9平)			
類型	疾患名	2019年 第3週 受理分	2019年 累計 <mark>※1</mark>	2018年 累計 <b>※1,2</b>	疾患名	2019年 第3週 受理分	2019年 累計 ※1	2018年 累計 <b>※1,2</b>
	エボラ出血熱	0	0	0	ペスト	0	0	0
_	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	マールブルグ病	0	0	0
類	痘そう	0	0	0	ラッサ熱	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0				
	急性灰白髄炎	0	0	0	中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	0
_	結核 ※3				鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	0
二 類	ジフテリア	0	0	0	鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0				
	コレラ	0	0	0	腸チフス	0	0	0
三 類	細菌性赤痢	0	0	1	パラチフス	0	0	1
類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	36				
	E型肝炎	0	0	3	東部ウマ脳炎	0	0	0
	ウエストナイル熱	0	0	0	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0	0
	A型肝炎	0	0	14	ニパウイルス感染症	0	0	0
	エキノコックス症	0	0	0	日本紅斑熱	0	0	0
	黄熱	0	0	0	日本脳炎	0	0	0
	オウム病	0	0	0	ローダ	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	Bウイルス病	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	身疽	0	0	0
	日曜然 キャサヌル森林病	0	0	0	ブルセラ症	0	0	0
<b>四</b> 類								
	Q熱 XX.j.j.j.	0	0	0	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0
	狂犬病 - 4、 バナノデュウ	0	0	0	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0
枳	コクシジオイデス症	0	0	0	発しんチフス	0	0	0
	サル痘	0	0	0	ボツリヌス症	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	0	0	マラリア	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	野兎病	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	ライム病	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	リッサウイルス感染症	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	リフトバレー熱	0	0	0
	炭疽	0	0	0	類鼻疽	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	1	レジオネラ症	0	0	12
	つつが虫病	0	0	0	レプトスピラ症	0	0	0
	デング熱	0	0	0	ロッキー山紅斑熱	0	0	0
	アメーバ赤痢	0	1	14	侵襲性肺炎球菌感染症	2	4	47
五類	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	0	0	6	水痘(入院例に限る)	0	0	4
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	0	16	先天性風しん症候群	0	0	0
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)※4	0	0	4	梅毒	0	2	72
	急性脳炎	2	3	23	播種性クリプトコックス症	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	破傷風	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	11	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	0	0	7	百日咳	5	12	134
	ジアルジア症	0	0	0	風しん	1	4	46
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	6	麻しん	0	0	2
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	1
新型インフルエ ンザ等感染症	規定されている疾患は、現在の ところありません 。							

※2 2018年累計は速報値となっています。

2019年1月22日 15:00集計

<sup>※3</sup> 結核は四半期ごとに集計し、感染症情報センターホームページに掲載しています。

<sup>※4</sup> 感染症法施行規則の一部改正により、2018年5月1日から全数把握対象疾患となりました。